

健康友の会みみはら2013年10月会員数(世帯数)

会員数	33,265	(前月比) +47
郵送	8,516	(前月比) -30
手配り	24,374	(前月比) +74

協同基金到達額 2,138,231,000円(9/30現在)
[前月比 10,630,000減]
協同基金出資者数 11,354名(9/30現在)
いのちを守る助け合い募金額 28,324円(9/1~30)

とも Friend 2013 11 No.362

発行
健康友の会 みみはら
本部事務局組織部
機関紙編集委員会

〒590-0824
堺市堺区老松町2丁58-1
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860

1部 30円



新理事長就任 のあいさつ

社会医療法人
同仁会 理事長

齊藤 和則

池田前理事長からバトンを受け10月1日付で同仁会新理事長になりました。私たちの法人は耳原実費診療所開設以来「無差別平等の医療」を掲げ、総合病院での差額ベッド代なしを貫き、さらに2011年からは無料低額診療を行っています。

友の会と同仁会とは健康増進、医療福祉の改善活動などに共同で取り組んできました。1998年の前倒産と2000年セラチア院内感染の際には地域訪問など、信頼回復のため一歩に行動していただきました。私たちが支えてくださる心強い仲間と思っています。

着々と進む新病院建設とともに、皆様がいままで健康を保ち「活きいきと暮らせる」まちづくりと、安全安心の医療と介護をすすめる「かかっぺ」が「かかっぺ」の事業所づくりに取り組んでいく所存です。これからも一層のご支援をお願い申し上げます。

許すな! 社会保障の一体改革



政府は医療や介護など社会保障制度改革の道筋を定めた「プログラム法案」を閣議決定しました。同法案は、臨時国会に提出される見通しで、成立すれば、今後、改革の具体化に向けた本格的な議論が行われることとなります。

消費税増税とも かかわって

来年度から「社会保障改革」がすすめられようとしています。

法案の正式名称は「持続可能な社会保障制度の確立を図るための講ずべき改革の推進に関する法律」です。

今回の改革は、「いかに社会保障費の増大をおさえるか」が主要な課題となっています。そのために「国民にも応分の負担をしていただく」という財政的視点の色濃くあらわれており、社会保障費目的を理由にした消費税アップの議論が深くかかわっているのも特徴です。

医療では

窓口負担が2倍に

医療の分野では、70歳から74歳の方の医療費窓口負担の見直しなど、医療費の窓口負担や健康保険料のアップにつながる可能性のある内容がもろこまれているのが特徴です。

もうひとつは、国民健康保険の運営主体や地域医療計画の実施責任主体を都道府県が担う形にする点です。府内の病院のベッド数

や急性期、亜急性期、慢性期といった病院の機能分化の議論に財政面のあり様が色濃く影響することが予測されます。

今回の改革に買われている理念を見てみると、国民自身の生活は「自助」を基本に、助け合いの「共助」も活用することが社会保障制度の前提であると書かれています。その上で「公助」の活用は自助や共助で対応できない困窮状態に限定(要件を設けた上で)。

介護では

要支援・軽度者の切り捨て

介護分野では、
①軽度者【要支援1・2】を介護保険サービス対象から外すこと。
②高額所得者【300万円/年】の利用負担1割から2割への負担増。
③特養入居者の介護度での制限【要介護3以上】が主な内容となっています。

要支援【予防】を介護保険から外し、自治体の独自サービスに移行することですが、現在自治体によって受け皿がありません。また、介護事業のように報酬など担保されるものもほとんどなく、施設基準や人員基準(専門職の配置)もなく、「ボランティアで行いながら」といった内容です。当然、今利用しているサービスより質が落ちますし、認知症や身体機能の低下も進むと考えられます。

高所得者の負担を1割から2割へと提案されていますが、高所得者とは500万円の収入の方を定義しているのでしょうか？ ラインが300万円？ とも新聞に出ていますが、政府が考えているのは、なるべくこれら範囲を広げたいと言っていることです。本音としては全部の利用者負担を医療と同様3割にしたいのですから。

2割負担になると当然、倍の負担になります。これがヘルパー利用や入所となると大きな負担になってきます。

年収1,000万円もあっておられる方は支払えませんが、500万円400万円と基準が下がって行けばいくほど、負担割合が大きくなります(消費税同様)。みなさんはどう思われるでしょうか？ どこまで我慢できるか？ 政府はこれらの顔色を見ながらさじ加減をしています。

公費の投入はあくまで制度の維持の目的に限定するとされています。

25条で「健康で文化的な最低限度の生活」の保障の理念はみあたらず、「自己責任」の論調が色濃く表れています。これまで守り続けてきた権利としての社会保障が崩されようとしている大きな危機を感じます。

友の会では「安心の医療・介護を求める国会請願署名」を行っております。ぜひ、ご協力ください

聴診器

堺市長選挙で「堺は一つ」と竹山修身さんを支持して、私も駅宣に参加、ピラを配りました。

ピラをうけて「ご苦労さん」と声をかけてくださる方があり、ピラを配っているメンバーの顔ぶれも豊かで、いつもとちよつとちがいました。そして大阪維新の会に勝った嬉しい余韻の中でこの原稿を書いています。私は小児科医として、「中学校卒業まで医療費が1回500円、月2回まで」のおかげを日々実感しつつ、小学校の校医としては教室にクーラーを付けるという竹山さんの公約に期待しています。市民の暮らしを守る施策が進みますように。

▼最近見た映画は「フランソアニメ」。「スーサイドシヨップ」。この映画は自殺を遂行する為の道具を売っているお店。死にたい人たちがつぎつぎと来店して流行っています。そこに3人目の子どもが生まれて、乳母車の中でニコニコ笑っています。大きくくなって、自殺を止めさせようと孤児の仲間と知恵を絞って、スーサイドシヨップをめちゃくちゃに壊してしまします。お店はクレープ屋に衣替えしてハッピーに。人生は生きるに値する物である。「風立ちぬ」は立ち見ができるほど、「スーサイドシヨップ」は空いていました。面白かったです。(山上 佳代子)